

行政視察報告

今後の議会運営の参考にするため実施した先進市視察について報告します。視察報告書の全文を市議会ホームページに掲載しています。※右のQRコードよりご覧いただけます。



横田基地対策特別委員会 令和6年5月14日(火)～15日(水) 視察先: ①北海道千歳市 ②航空自衛隊千歳基地

①千歳市の基地対策について

千歳市の人口の約25%を自衛隊員及び家族が占めており、自衛隊と共存共栄のまちづくりが進められている。在日米軍再編に係る訓練移転問題への対応では、住宅防音工事の推進、騒音障害の著しい区域からの住民移転や関係機関による連絡協議会の設置、市の要望を踏まえた地域振興策が実施された。

②航空自衛隊千歳基地について

現地視察を行った第2航空団は、航空自衛隊として最初にできた戦闘航空団であり、F-15(イーグル)戦闘機部隊である第201及び203飛行隊の2つの飛行隊を保有し、北部日本全空域での領空侵犯に対する対処などを任務としている。緊急発進(スクランブル)は、近年減少しているが24時間体制で対応している。また、近年は自衛隊員の減少により部隊運用が難しくなっている。



航空自衛隊千歳基地にて

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択
○ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書(6-12号)
(不採択理由)
国において、ガザ地区における人道状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議が可決されたこと。また、地方自治法第99条に該当しないことから、意に沿い難い。

○三垂彦さんの早期救出を求める意見書「提出等」を求める陳情書(6-4号)
(不採択理由)
陳情者の訴えることが真実であれば大変な人権侵害であるが、事実関係や逮捕理由について判断し得る基礎データがないことから、意に沿い難い。

○民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書(6-15号)
(不採択理由)
全ての民間建築物を調査対象とすると、対象数が膨大となり、その全てに対し調査への助成を行うことは現実的ではないことから、意に沿い難い。

○マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書(6-6号)
(不採択理由)
医療機関の休業の背景は、経営者の高齢化や後継者不足等であり、マイナンバーカードが原因とはいえない。また、保険証を登録していない人へは資格確認書が発行され、これまでも同様の取扱いであることから、意に沿い難い。

討論

●令和5年度福生市一般会計決算認定について

■賛成
行財政運営については、市の財政力を十分に活用し切っていないのではないかと。今も市民に活用され、大きな役割を果たしている公共施設を、今後20%も削減しようとしていること。市の重要課題である人口減少、特に、子どもとその親世代の減少に対して効果的な施策がなかったこと。市民生活を支え、地域振興にも重要な貢献をする地域公共交通の整備が検討されなかったこと。横田基地への対応については、高度飛行や航跡図計の設置、ローター機飛行回数調査、横田基地返還跡地利用構想がないこと等から、本決算に反対する。

■賛成
令和5年度決算は、コロナ禍が区切りを迎えたが、ロシアによるウクライナ侵攻等による物価高騰が市民の暮らしにも影響を及ぼし、物価高騰対策事業に多く取り組んできたことが確認できた。

令和5年度は、アフターコロナ、ウィズコロナの生活が本格的にスタートしたが、行政改革では、本市の特性にマッチしたDXを推進し、包括連携協定に基づくBPRの実施など、「新しい力」との共創」の視点からも大きな成果を上げたことが確認できた。

教育行政では、不登校対策において支援の充実が図られ、市内の幼稚園、認可保育園、認定こども園17園との包括連携協定を締結し、幼保小の円滑な接続を推進され、中央図書館を改修し西多摩初となる電子図書館を開館するなど「生涯を通じて学ぶ、知の拠点」が整備されたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、エネルギーや食料品価格の高騰など物価高騰に対応するための予算が多く組まれ、新型コロナウイルス感染症対策から物価高騰対策へと対応の変化した年であった。

窓口業務の一部を民間事業者へ委託するなど適切に業務の効率化が図れたこと、校内設置の学童クラブとふっさつ子の広場で異なる事業者があるという課題の改善やコミュニティ・スクールの充実など社会の変化や課題解決のために組織を見直し対応したことが、教育行政において多様な子どもたちに寄り添う事業について審査を通して確認できたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、生活に困窮された方々への支援、物価高に苦しんでいる低所得世帯に対しての支援を、スピード感を持って対応したことを確認した。

子どもや子育て世帯に対する支援については、給食費などの費用を値上げしないため、保育所、幼稚園等に対し、補助金を交付して間接的な保護者負担の軽減を行ったことが確認できた。高校生等医療費助成事業では、所得制限を設けず実施したことを確認できた。

不登校対策では、校内別室指導支援員の配置を高く評価することなどから、本決算に賛成する。

ロシアによるウクライナ侵攻などにより発生した物価高等に対応して予算執行された決算であった。ICTやAIの活用により業務の効率化を目指し、ふっさ電子図書館の開設によりデジタル面での市民サービスの向上を確認できた。高齢者デジタルデバイス対策事業では、スマートフォンを身近に感じたり、外出先での調べ物が便利になったり、外見での確認ができた。不登校の児童・生徒対策では、メッセージカードの交換や、iPadの掲示板機能を活用して、互いを認め感謝を伝える取組を確認できたことなどから、本決算に賛成する。

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例
●令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
●令和5年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について
●ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書
●民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書
●マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書
●多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書

令和5年度は、生活に困窮された方々への支援、物価高に苦しんでいる低所得世帯に対しての支援を、スピード感を持って対応したことを確認した。

子どもや子育て世帯に対する支援については、給食費などの費用を値上げしないため、保育所、幼稚園等に対し、補助金を交付して間接的な保護者負担の軽減を行ったことが確認できた。高校生等医療費助成事業では、所得制限を設けず実施したことを確認できた。

不登校対策では、校内別室指導支援員の配置を高く評価することなどから、本決算に賛成する。

ロシアによるウクライナ侵攻などにより発生した物価高等に対応して予算執行された決算であった。ICTやAIの活用により業務の効率化を目指し、ふっさ電子図書館の開設によりデジタル面での市民サービスの向上を確認できた。高齢者デジタルデバイス対策事業では、スマートフォンを身近に感じたり、外出先での調べ物が便利になったり、外見での確認ができた。不登校の児童・生徒対策では、メッセージカードの交換や、iPadの掲示板機能を活用して、互いを認め感謝を伝える取組を確認できたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、アフターコロナ、ウィズコロナの生活が本格的にスタートしたが、行政改革では、本市の特性にマッチしたDXを推進し、包括連携協定に基づくBPRの実施など、「新しい力」との共創」の視点からも大きな成果を上げたことが確認できた。

教育行政では、不登校対策において支援の充実が図られ、市内の幼稚園、認可保育園、認定こども園17園との包括連携協定を締結し、幼保小の円滑な接続を推進され、中央図書館を改修し西多摩初となる電子図書館を開館するなど「生涯を通じて学ぶ、知の拠点」が整備されたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、エネルギーや食料品価格の高騰など物価高騰に対応するための予算が多く組まれ、新型コロナウイルス感染症対策から物価高騰対策へと対応の変化した年であった。

窓口業務の一部を民間事業者へ委託するなど適切に業務の効率化が図れたこと、校内設置の学童クラブとふっさつ子の広場で異なる事業者があるという課題の改善やコミュニティ・スクールの充実など社会の変化や課題解決のために組織を見直し対応したことが、教育行政において多様な子どもたちに寄り添う事業について審査を通して確認できたことなどから、本決算に賛成する。

令和5年度は、生活に困窮された方々への支援、物価高に苦しんでいる低所得世帯に対しての支援を、スピード感を持って対応したことを確認した。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

9月17日に委員会が開かれ、2件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(建設環境委員会所管分)
問 空き家住宅除却助成金の申請、相談状況等を伺う。
答 当初予算で戸建て住宅11棟分と共同住宅3棟分の630万円を計上し、戸建て住宅12棟、共同住宅3棟の合計15棟分の申請相談があり、更に戸建て住宅4棟分の相談があったことから、合計額755万円の不足分を補正予算として計上した。

問 横田基地水の令和4年度比較との増減、料金改定の影響を伺う。
答 排出量は124万7423m³で、令和4年度に比べ2万3212m³、1.9%の増、使用料は4億6731万3千円で、令和4年度に比べ3636万2千円、8.4%の増。料金改定により2750万円の収入増となった。

●令和5年度福生市下水道事業会計決算認定について

市民厚生委員会

9月18日に委員会が開かれ、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情1件は、不採択となりました。

●福生市印鑑条例及び福生市手数料条例の一部を改正する条例
問 窓口で印鑑証明書を取得する場合、マイナンバーカードの提示でどのように変わるのか伺う。
答 マイナンバーカードの顔写真を含む券面情報にて本人確認を行い、電子証明書が有効なものかを確認した上で、証明書を交付するものである。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例
問 この条例の改正は、令和6年12月2日に保険証が廃止されることを前提とした改正ということか。また、今回の改正で被保険者への影響はあるのか伺う。
答 その通りである。また、本改正による被保険者への影響はない。

●令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法で、医療機関での個別接種では予約が必要か伺う。
答 医療機関の中には、予約が不要とされているところもあるが、ご自身で指定医療機関へ連絡し、接種の予約を取っていたり、予約の可否情報については、市ホームページの医療機関一覧や10月1日号の市広報を確認してほしい。

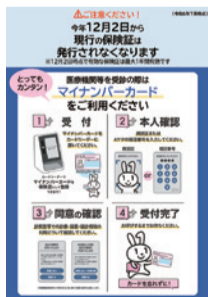
●令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
問 国・都支出金返還金の内容について伺う。
答 国への返還金は、健康保険組合等出産育児一時金臨時補助金返還金であり、東京都への返還金は、医療費分として普通交付金分及び保険者努力支援金、特別調整交付金、都繰入金、特定健康診査

等負担分である。いずれも予算額で交付され、決算において実績が確定したことによる返還金である。

●令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護給付適正化事業の取り組みと成果について伺う。
答 介護保険法に基づき、市内の介護サービス事業所のうち11事業所に対し実地検査を行った。成果としては、介護給付対象のサービスの質を確



▲除却前の空き家



マイナンバーカードの健康保険証利用に関するリーフレット

令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 積み立て後の基金の総額について伺う。
答 介護給付費準備基金積立金の額は、令和6年度末の基金残高を8億6255万853円と見込んでいます。

令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 加入状況について、令和4年度と比較し令和5年度は400人ほど減少している。この要因について伺う。
答 被保険者数の減少は、団塊の世代が75歳を迎え、後期高齢者医療制度へ移行していることや、令和4年10月より、従業員数100人を超える企業まで被用者保険の適用が拡大されたことなどの影響も考えられる。

令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護給付適正化事業の取り組みと成果について伺う。
答 介護保険法に基づき、市内の介護サービス事業所のうち11事業所に対し実地検査を行った。成果としては、介護給付対象のサービスの質を確

定とした改正ということか。また、今回の改正で被保険者への影響はあるのか伺う。
答 その通りである。また、本改正による被保険者への影響はない。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 新型コロナウイルスワクチンの接種方法で、医療機関での個別接種では予約が必要か伺う。
答 医療機関の中には、予約が不要とされているところもあるが、ご自身で指定医療機関へ連絡し、接種の予約を取っていたり、予約の可否情報については、市ホームページの医療機関一覧や10月1日号の市広報を確認してほしい。

令和6年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
問 国・都支出金返還金の内容について伺う。
答 国への返還金は、健康保険組合等出産育児一時金臨時補助金返還金であり、東京都への返還金は、医療費分として普通交付金分及び保険者努力支援金、特別調整交付金、都繰入金、特定健康診査

等負担分である。いずれも予算額で交付され、決算において実績が確定したことによる返還金である。

令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護給付適正化事業の取り組みと成果について伺う。
答 介護保険法に基づき、市内の介護サービス事業所のうち11事業所に対し実地検査を行った。成果としては、介護給付対象のサービスの質を確

定とした改正ということか。また、今回の改正で被保険者への影響はあるのか伺う。
答 その通りである。また、本改正による被保険者への影響はない。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第3号)
(市民厚生委員会所管分)
問 積み立て後の基金の総額について伺う。
答 介護給付費準備基金積立金の額は、令和6年度末の基金残高を8億6255万853円と見込んでいます。

令和5年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
問 加入状況について、令和4年度と比較し令和5年度は400人ほど減少している。この要因について伺う。
答 被保険者数の減少は、団塊の世代が75歳を迎え、後期高齢者医療制度へ移行していることや、令和4年10月より、従業員数100人を超える企業まで被用者保険の適用が拡大されたことなどの影響も考えられる。

令和5年度福生市介護保険特別会計決算認定について
問 介護給付適正化事業の取り組みと成果について伺う。
答 介護保険法に基づき、市内の介護サービス事業所のうち11事業所に対し実地検査を行った。成果としては、介護給付対象のサービスの質を確